

9150 高精度インジケータ

特長

- 24ビットの分解能
- 10ポイントによるリニアライズ
- 0.005%FSのリニアリティ
- ± 4.5 mV/Vの感度
- 2チャンネル変換器入力（オプション）
- ソフトウェアにより選択可能なフィルタ
- RS-232、RS-485またはUSBコンピュータインターフェイス
- 最大25台までのロードセル校正データを保存



仕様

モデル	9150-1 1ch(チャンネル) 9150-2 2ch(チャンネル)
性能	
電源電圧	AC115V, 60Hz/ AC230V, 50Hz
励起電圧	DC5VまたはDC10V (ソフトで自動の選択可)
消費電流	DC5VまたはDC10Vで180 mA
プッシュボタン式シャント	可能
内蔵型シャント抵抗器	標準 1つ、オプションで2つ。リアパネルで選択可
表示範囲	-999,999 ~ 999,999
校正方式	シャント校正、mV/V、既知の負荷による校正可
プッシュボタン式テアー	範囲の100%—ディスプレイ表示およびアナログ出力
感度調整	1 mV/V ~ 4.5 mV/V
精度	$\pm 0.01\%$ FS
CMRR	115 dB
変換器チャンネル	
チャンネル数	9150-1 1ch、9150-2 2ch
D/A アナログ出力	
フルスケール出力	公称 DC $\pm$ 10V DC $\pm$ 0.5V
リニアリティ	0.02%FS
スケーリング	ゲインとオフセットはソフトウェアで選択可能
応答周波数	約1.5kHz（フィルタリングあり）
出力ソース	ディスプレイに値を表示
ダイレクトアナログ出力	
フルスケール出力	DC $\pm$ 8.14V DC $\pm$ 0.25V
リニアリティ	0.02%FS
スケーリング	テアーでの固定なし、変換器チャンネルのみ
応答周波数	約1.5kHz
デジタル式 I/O	
入カーインターフェイス	光学的に分離された4つの入力
出カークワッド制限	分離された4つの無接点スイッチ
シリアルインターフェイス	
RS-232, RS-485	標準、オプションあり
USB	標準
自動変換器ID	
自動ID及び設定	標準